

令和7年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	三原市立西小学校	対象となる主な学年	第5学年
取組事例名	「クラス会議でよりよい学級をつくろう」		

◆ 児童の実態及び取組を通して育てたい児童像	
児童の実態	取組を通して育てたい児童像
<ul style="list-style-type: none"> <li>・話を静かに聞くことが難しい児童がいる。</li> <li>・きまりを守ろうとする意識が弱い児童がいる。</li> <li>・コミュニケーションがうまくとれず児童間のトラブルがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話を聞こうとする態度の育成</li> <li>・児童会目標を守ろうという意識の向上</li> <li>・協力して生活する関係性の構築</li> </ul>



◆ 取組の具体的内容	
取組を実施する意図及びねらい	
学級でいっしょに生活している友達のことを目に向け、お互いに気持ちよく生活できているか関心をもち、問題があれば、その問題を自分たちで解決しようと真剣に話し合う学級をつくる。	
取組の流れ・創意工夫・児童の変容等	
<p>1 輪になる 2 あいさつ 3 話し合いのルール</p> <p>4 アイスブレイキング 「昨日の晩御飯」「お勧めのテレビ番組」などをテーマにして、話しやすい雰囲気をつくるようにした。</p> <p>5 前回の解決策の振り返り</p> <p>6 議題の提案 「生活目標『5分休憩の過ごし方』ができるようにするためには、どうしたらいいのか。」</p> <p>7 話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解決策を集める</li> <li>・解決策を絞る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備を優先させる。</li> <li>・声をかける。</li> <li>・友だちの所に話しに行かない。</li> <li>・目標をつくる。</li> </ul>
<p>8 きまったことの発表 9 振り返り 10 先生の話 11 あいさつ</p> <p>友だちの所に話しに行くことで、授業の開始に間に合わないことが多いので、先に準備をしてからなら、話していてもすぐに着席できると考えた。</p> <p>* 次回のクラス会議で振り返る。</p>	

◆ 成果（○）と課題及び今後に向けて（●）	
<p>○クラス会議を始めたばかりの頃は、発言者が限られ、話し合っただけで決めたことが守られなくても、平気だったが、1回目に達成できなかったテーマについて、2回目の話し合いでは、「達成できるには、どうしたらよいか」を考える中で、「達成に向けて頑張ろう」という意見が多数出た。その後、授業などの開始時に準備をし、チャイムとともに授業を開始することができ始め、クラス全体が、静かに席について学習しようという雰囲気を作り出せるようになった。</p> <p>○学級の中で、きまりを守ることができないことが多い児童が、クラス会議に興味をもち、「今日はクラス会議する？」と、楽しみにするようになり、積極的に意見を出す場面が増えた。</p> <p>○クラス会議でクラスが良くなったと思う児童の割合 100%</p> <p>●児童にとって必要感のある議題を設定することや他者の意見を聞いたり、受け入れたりする学級の共感的な土壌や支持的な風土づくりに、学級会をはじめ、各教科等の中で取り組んでいく必要がある。</p> <p>●意見の違いを大切にして様々な解決方法を模索するなどの話し合いを展開し、「自分にとっても、みんなにとってもよい」ことを合意形成する経験を積み上げていく必要がある。</p>	